

石綿含有仕上塗材の除去作業比較表

| 工 法 | | 特徴・コメント(上段:メリット 下段:デメリット) |
|-----|---|---|
| 1 | 集じん装置併用 手工具ケレン工法 | <p>狭小部の施工が最適。塗材・下地調整材まで除去することができる。</p> <p>作業速度が遅いため、作業効率が低い。乾式工法のため、粉塵飛散の可能性がある。集塵装置内の廃材・HEPAフィルター交換時は、隔離養生内作業が必要である。HEPAフィルターの目詰まりに注意。</p> |
| 2 | ウォータークリーン M工法 集じん装置付き 高圧水施工法 (15MPa以下) | <p>飛散を抑制した、水洗い又は劣化部除去工としての水洗作業に最適。塗膜を除去しない改修工事に最適。</p> <p>塗膜及び下地調整材の除去は不可。アスベスト含有水の廃水処理が必要。 入隅等施工用アタッチメントが必要。</p> |
| 3 | ウォータークリーン 工法 集じん装置付き 超高圧水施工法 (100MPa以上) | <p>常時湿潤化し飛散を抑制しながら、塗材・下地調整材まで確実に除去することができる。 湿潤化及び吸引しているため、養生不要。</p> <p>開口部、入隅作業は、他工法併用。水処理が必要。入隅等施工用アタッチメントが必要。</p> |
| 4 | 超音波ケレン工法 (HEPAフィルター 付き掃除機併用) | <p>狭小部の施工が最適。塗材・下地調整材まで除去することができる。</p> <p>作業速度が遅いため、作業効率が低い。乾式工法のため、粉塵飛散の可能性がある。集塵装置内の廃材・HEPAフィルター交換時は、隔離養生内作業が必要である。HEPAフィルターの目詰まりに注意。</p> |
| 5 | 剥離剤併用 手工具ケレン工法 | <p>作業が簡単である。低コスト。</p> <p>下地調整材の除去は不可。塗材の完全剥離は不可。塗材は、層毎の剥離になるため、積層塗材に注意。 追加施工が必要になる可能性有。ジクロロメタン等の有害性の高い薬品は使用不可。作業中の臭気。</p> |
| 6 | ウォータークリーン 剥離剤工法 剥離剤併用手工具 ケレン工法 | <p>作業が簡単、低コスト。追加施工なしで塗膜の完全除去が可能。</p> <p>剥離剤工法より1工程多いためコストが多少増加。</p> |
| 7 | 剥離剤併用 超音波ケレン工法 | <p>作業が簡単である。狭小部の施工が可能である。</p> <p>下地調整材の除去を行う場合は、粉塵飛散の可能性がある。 ジクロロメタン等の有害性の高い薬品は使用不可。作業中の臭気。</p> |
| 8 | 集じん装置付き ディスクグラインダー ケレン工法 | <p>狭小部の施工ができる。塗材共、下地調整材まで確実に除去することができる。</p> <p>作業速度が遅いため、作業効率が若干低い。乾式工法のため、粉塵飛散の可能性がある。集塵装置内の廃材・HEPAフィルター交換時は、隔離養生(負圧不要)が必要である。HEPAフィルターの目詰まりに注意。</p> |
| 9 | ウォータークリーン SG工法 湿式集じん装置付き ディスクグラインダー ケレン工法 | <p>狭小部の施工ができる。常時湿潤化し飛散を抑制しながら、塗材・下地調整材まで確実に除去することができる。常時湿潤化及び吸引しているため、養生不要。</p> <p>作業速度が③と比較すると遅いため、作業効率が若干低い。水処理が必要。</p> |

大気汚染防止法施行規則別表第7第一の項下欄柱書に基づく、 石綿含有仕上塗材の除去等に係る同等以上の効果を有する措置対象工法の比較表

【簡易養生とは】パネル・シート等で風散防止を図り、足場の汚損・外部への流出を防止する程度【隔離養生とは】簡易養生の措置及び天井・壁・床等全周を隙間なく養生すること

| 作業効率・施工性 (石綿作業従事者4人として) | 廃水中の 石綿処理 | 下地調整材 除去可否 | 養生レベル | 総合 判定 | 備考 | 施工費用 (500㎡以上) |
|----------------------------|--------------|---------------|--------|----------|--|-------------------------------------|
| 作業効率は 低程度 5㎡/日 | 不要 | ○ | 一部隔離養生 | △ | 他工法の狭小部施工に最適。大面積の施工は難しい。 集塵装置のダストパック・フィルター交換の際は隔離養生内 にて作業。 | お問い合わせください(施工費用は物件状況により変動する場合があります) |
| 作業効率は 高程度 200㎡/日 | 必要 | × | 簡易養生 | ○ | アスベスト含有塗膜を飛散させず、 健全塗膜を水洗することができる。 | |
| 作業効率は 高程度 50~100㎡/日 | 必要 | ○ | 簡易養生 | ◎ | 開口部、入隅作業は、他工法併用として 湿式集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 または専用アタッチメントを使用。 | |
| 作業効率は 低程度 8㎡/日 | 不要 | ○ | 一部隔離養生 | △ | 他工法の狭小部施工に最適。大面積の施工は難しい。 集塵装置のダストパック・フィルター交換の際は隔離養生内 にて作業。 | |
| 作業効率は 中程度 15~30㎡/日 | 不要 | × | 簡易養生 | ○ | 複数回の改修してある、塗材除去時に塗材層間に C-1等の下地材が施工してある場合は除去不可のため注意 が必要である。 | |
| 作業効率は 中程度 15~30㎡/日 | 不要 | × | 簡易養生 | ◎ | 剥離剤工法で除去しきれない気泡痕内まで 完全除去可能。 | |
| 作業効率は 低程度 5㎡/日 | 不要 | ○ | 簡易養生 | △ | 仕上塗材・下地調整材の除去もできるが、施工スピードが極 めて遅い。 厚膜は除去不可の可能性がある。 | |
| 作業効率は 中程度 15~30㎡/日 | 不要 | ○ | 一部隔離養生 | △ | 他工法の狭小部施工に最適。大面積の施工は難しい。 集塵装置のダストパック・フィルター交換の際は隔離養生内 にて作業。 | |
| 作業効率は 中程度 15~30㎡/日 | 必要 | ○ | 簡易養生 | ○ | 小規模工事や他工法の狭小部施工に最適。 大面積の場合は台数増で対応可。 | |